

# グラウンドカバープランツによる 畦畔雑草管理について

茨城県 県北農林事務所

畦畔管理省力化技術確立プロジェクトチーム

# グランドカバープランツ導入のねらい

- ▶ グランドカバープランツにより雑草の発生を抑え、草刈りの回数を減らす
- ▶ 目標回数：0～2回/年

# グランドカバープランツとは

- ▶ ほふく茎（ランナー）を伸ばして地面を被覆する性質を持つ植物
- ▶ 土壌の表面をグランドカバープランツで覆うことで他の雑草の侵入や生育を防ぐ

センチピードグラス



ベントグラス



# グランドカバープランツの メリットとデメリット

## ▶ メリット

- ▶ きちんと定着できれば、10年以上草刈り労力を削減できる
- ▶ 草丈が高くない性質のため、草刈りの回数を減らせる
- ▶ 畦畔全体が被覆できれば景観も保たれる

## ▶ デメリット

- ▶ 導入年は苗代などの経費が掛かり、作業に時間がかかる
- ▶ 植付後は、草姿が安定するまで、除草対策が必要

# センチピードグラスのメリットとデメリット

## ▶ メリット

- ▶ 活着すると被覆が早い
- ▶ マットができると非常に強固になる
- ▶ 自家増殖ができる

## ▶ デメリット

- ▶ 施工コストがベントグラスよりも高い
- ▶ 移植・発芽時の乾燥に弱い
- ▶ 寒さや積雪に弱い

# センチピードグラスの作業スケジュール

時 期	3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
水 稻 の 生 育				● 播種	○ 移植	▲ 活着期	分げつ期			幼穂形成期			△ 穂肥	◎ 出穂期 (登熟期)	▼ 落水			● 収穫期						
畦畔雑草の発生	春雑草						夏雑草																	
畦畔管理(刈払機)							刈払い			刈払い			刈払い			刈払い								
畦畔管理(除草剤)							茎葉散布除草剤			茎葉散布除草剤			茎葉散布除草剤											
センチピードグラス (1年目)							除草剤散布 (1回目)			除草剤散布 (2回目)			除草作業											
							セルトレイへの播種			ポット苗の移植														

- ・ 品種は比較的耐寒性が強いものが適している。(例：タキイ種苗「ティフ・ブレア」など)
- ・ 移植期は6月中下旬。7～9月の生育を十分確保できるかで冬越しができるか変わってくる。
- ・ 乾燥に弱いので8月が乾燥する場合は散水が必要。
- ・ 移植後の除草が大事。これがうまくいくかで定着に大きく差が出る。
- ・ 2年目以降の雑草管理は基本刈払い。再生力が強いので高さ10cmくらいで刈れば雑草よりも早く再生してくる。深刈りは厳禁。

# センチピードグラス施工（施工前）



# センチピードグラス施工（移植）





# センチピードグラス施工（移植完了）



# センチピードグラス施工後（移植後1ヶ月）



# センチピードグラス施工後（移植後1年）



# ベントグラスのメリットとデメリット

## ▶ メリット

- ▶ センチピードグラスよりも施工コストが安い
- ▶ 寒地型の芝のため耐寒性が高い
- ▶ 生育が早く被覆の結果が早くわかる

## ▶ デメリット

- ▶ 施工適期が短い
- ▶ 施工方法が直播のみ
- ▶ 暑さに弱く夏枯れを起こすことがある

# ベントグラスの作業スケジュール

時 期	11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月					
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下						
水 稻 の 生 育													播種	出芽	2.2葉期 (稚苗)	移植	活着期	分げつ期				幼穂 形成期	穂肥	出穂期 (登熟期)	落水	成熟期	収穫期												
畦畔雑草の発生													春雑草						夏雑草																				
畦畔管理(刈払機)													刈払い						刈払い						刈払い						刈払い								
畦畔管理(除草剤)													茎葉散布除草剤						茎葉散布除草剤						茎葉散布除草剤														
ベントグラス (2年目)													除草剤散布						ベントグラス (1年目)						除草剤散布 (1回目)			除草剤散布 (2回目)			雑草除去								
	肥料散布																					播種			肥料散布														

- ・ 品種は比較的暑さに強いものがおすすめ。（例：雪印種苗「畦畔グリーン」など）
- ・ 除草剤によって枯死した雑草を取り除くことが重要。ベントグラスの種子が地面につかないと定着しない。
- ・ 播種は8月下旬～9月上旬。早いと暑さで被害を受ける。遅いと生育が不十分になり、夏枯れして翌年の夏が越せない。
- ・ 9月下旬～10月上旬の施肥は初期の生育をブーストするため、3月の施肥は春先に雑草に負けられないために行う。

# ベントグラス施工（除草剤散布）



# ベントグラス施工（除草）



# ベントグラス施工（播種）





# ベントグラス施工（播種後1週間）



# ベントグラス施工（播種後1ヶ月）



# ベントグラス完成例（施工後数年）



# グラウンドカバープランツのコスト試算（1年目）

植物		センチピードグラス	ベントグラス
施工方法		移植	直播
労働時間 (時間/畦畔100m <sup>2</sup> )	薬剤散布	1.3	1.3
	施工	5.5	2.1
	かん水	1.4	0.2
	管理	3.8	-
	合計	11.9	3.6
労働費 (円/畦畔100m <sup>2</sup> )	合計	11,923	3,616
資材費合計(円/畦畔100m <sup>2</sup> )		17,520	12,667
労働費(円/畦畔100m <sup>2</sup> )		11,923	3,616
コスト(円/畦畔100m <sup>2</sup> )		29,443	16,293

# グラウンドカバープランツのコスト試算（経年版）

- ・ 3年目に被覆が完了して管理の必要がなくなった場合の試算モデル

